

吉益東洞 医案②

備後光西寺の主僧、某上人、一身腫脹す。小便利せず、心中煩悶し、氣息絶せんと欲す。脚殊に濡弱。一医越婢加朮附湯と為しこれを飲ましむ。数日、其の効なし。先生これを診す。按じて小腹に至りて、其の不仁の状を得。乃ち八味丸と為しこれを飲ましむ。一服して心中稍安じ、再服して小便快利す。いまだ十劑を尽くさずして全愈す。